

# 文化庁メディア芸術祭京都展

アニメーション部門  
パラレルワールド京都

PARALLEL  
WORLD  
KYOTO

× 国民文化祭・京都2011

# 京都映像フェスティバル

～前衛こそ伝統 - 京都の映画文化～

『四畳半神話大系』  
『マイマイ新子と千年の魔法』  
『カラフル』  
『涼宮ハルヒの消失』  
『天上人とアクト人最後の戦い』  
『けいおん!』  
『フミコの告白』  
『RAIN TOWN』

『狂った一頁』  
『丹下左膳余話 百万両の壺』  
『残菊物語』  
『羅生門』  
『地獄門』  
『忠臣蔵』  
『茶々 天涯の貴妃』  
『鴨川ホルモー』  
『不知火の恋』  
『GENTA』  
『古都奇譚 秋』  
『流騷』  
『宮津の鬼婆』  
『The Battle』  
『Purple and Gold』  
『SAYONARAKEN さよなら犬』  
『The Mistake 手抜き』  
『The Ambush まちぶせ』  
『象煮』  
『王の男』



地獄門

©角川書店



四畳半神話大系

©四畳半主義者の会

## トークイベント

「宇宙、京都、四畳半」

森見登美彦 (『四畳半神話大系』原作)

上田誠 (ヨーロッパ企画代表、『四畳半神話大系』シリーズ構成・脚本)

「京都アニメーション・スタッフ座談会  
-アニメーション制作の現場から-」

木上益治 (『天上人とアクト人最後の戦い』監督)

武本康弘 (『涼宮ハルヒの消失』監督)

石立太一 (『けいおん!』演出)

『フミコの告白』作品トーク

石田祐康 (『フミコの告白』監督)

## トークイベントなど

「日本映画原点の地・立誠」

映画『忠臣蔵』 活弁上映とトークセッション

津川雅彦 (映画監督・俳優) 井上陽一 (活弁士)

『茶々 天涯の貴妃』作品トーク

橋本一 (『茶々 天涯の貴妃』監督)

「映画とメディア芸術の振興 近年の流れ」

佐伯知紀 (文化庁文化政策課文化調査官)

「世界の歴史劇映画の魅力を語る」

時代劇ルネサンスプロジェクトメンバー

(チョ・ソンユン、劉海濤、王継熙、ニコラ・ブゼ、加藤舞ほか)

体験! キッズシネマスタジオ

小学生を対象にした映画の撮影体験ワークショップ。

(太秦シネマフェスティバルと共催)

京都国文祭 京都映像フェスティバル

～前衛こそ伝統 - 京都の映画文化～

主催: 京都府、京都府教育委員会、第26回国民文化祭京都府実行委員会、

京都府京都文化博物館

協力: 東映京都撮影所、東映京都スタジオ、松竹撮影所

立誠まなびや実行委員会、京都シネマ

会場: 京都府京都文化博物館、元・立誠小学校、京都シネマ、東映京都撮影所

文化庁メディア芸術祭京都展

パラレルワールド京都

主催: 文化庁

共催: 京都芸術センター、京都府京都文化博物館、京都国際マンガミュージアム、

第26回国民文化祭京都府実行委員会

協力: Gallery PARC [グランマーブルギャラリー・パルク]、京都国立近代美術館、

ルネサンスー京都・映像・メディアアート実行委員会、

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

会期: 京都芸術センター 11.11～11.23

京都府京都文化博物館 10.29～11.6

京都国際マンガミュージアム 10.29～11.23

癒しのところ  
今こそ  
文化の  
底●力

2011.10.29～11.6 @京都文化博物館



文化庁メディア芸術祭京都展  
パラレルワールド京都  
アニメーション部門

ファンタジーのパラレルワールド

平成22年度文化庁メディア芸術祭受賞作品を中心に、京都文化の魅力を伝える作品を上映とトークセッションで紹介。

『四畳半神話大系』A 10/31,11/5  
2010年マッドハウス制作(全11話連続上映)/監督:湯浅政明  
(第14回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞)

トークイベント B 11/5 事前申込み必要(下記)  
「宇宙、京都、四畳半」  
対談:森見登美彦(『四畳半神話大系』原作)  
上田誠(ヨーロッパ企画代表、『四畳半神話大系』シリーズ構成・脚本)

『マイマイ新子と千年の魔法』C 11/2,11/5  
2009年マッドハウス制作(94分)/監督:片瀬須直  
(第14回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞)

『カラフル』D 10/30,11/1  
2010年サンライズ・アセンション制作(127分)/監督:原恵一  
(第14回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞)

京都のクリエイター集団が描くパラレル・ワールド

東京一極集中と言われるメディア業界にあって、京都を製作の拠点にして世界的な評価を得ている京都アニメーションを作品と関係者のトークセッションで紹介。

『涼宮ハルヒの消失』E 10/29,11/3  
2010年京都アニメーション制作(163分)/総監督:石原立也 監督:武本康弘  
(第14回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門審査委員会推薦作品)

トークイベント F 11/3 事前申込み必要(下記)  
「京都アニメーション・スタッフ座談会  
-アニメーション制作の現場から-」  
座談会:木上益治(『天上人とアクト人最後の戦い』監督)  
武本康弘(『涼宮ハルヒの消失』監督)  
石立太一(『けいおん!』演出)

『天上人とアクト人最後の戦い』G 11/3,11/4  
2010年京都アニメーション制作(83分)/監督:木上益治

『けいおん!』H 11/2,11/3  
2009年京都アニメーション制作(テレビ放送より2話を上映)  
/監督:山田尚子

京都・映像表現のパラレルワールド

映画・映像のトップランナーを輩出し続けてきた京都。その予備群である京都出身の若手作家を紹介。

『フミコの告白』I 11/1,11/4  
2009年製作(3分)/監督:石田祐康  
(第14回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞)

『RAIN TOWN』J 『フミコの告白』と連続上映 11/1,11/4  
2011年製作(10分)/監督:石田祐康作品

トークイベント J 11/6  
『フミコの告白』作品トーク  
講師:石田祐康(『フミコの告白』監督)



E © 2009 Nagaru Tanigawa・Noizi Ito/SOS団



D ©2010 森絵都 / 『カラフル』製作委員会



C ©2009 高樹のぶ子・マガジンハウス / 『マイマイ新子』製作委員会



I © ishidahiroyasu 『フミコの告白』

京都国文祭  
京都映像フェスティバル  
~前衛こそ伝統-京都の映画文化~

前衛表現が古典になる-京都映画のエッセンス

『狂った一頁』 10/31,11/3  
1926年新感覚派映画連盟作品(59分)/監督:衣笠貞之助  
/出演:井上正夫、中川芳江、飯島綾子

『丹下左膳余話 百万両の壺』 11/1,11/4  
1935年日活太秦作品(90分)/監督:山中貞雄/出演:大河内伝次郎、喜代三、沢村国太郎

『残菊物語』 10/30,10/31  
1939年松竹下加茂作品(137分)/監督:溝口健二/出演:  
花柳章太郎、森赫子、高田浩吉

【最新技術で甦る京都の名作】

『羅生門』 10/30,11/4  
1950年大映京都作品(2010年デジタル復元版・87分)/  
監督:黒澤明/出演:三船敏郎、京マチ子、志村喬

『地獄門』 10/29,11/3  
1953年大映京都作品(2011年デジタル復元版・89分)/  
監督:衣笠貞之助/出演:長谷川一夫、京マチ子、山形勲

【映画『忠臣蔵』活弁上映とゲストトーク】 11/3 事前申込み必要(下記)  
トークイベント 「日本映画原点の地・立誠」  
牧野省三監督の孫にあたる、俳優・映画監督の津川雅彦  
氏を招いてのゲストトークと、サイレント映画の名作に  
井上陽一氏による活弁と和洋合奏団の伴奏付きで上映。

『忠臣蔵』 11/3  
1910・12年横田商会作品(69分)/監督:マキノ省三/出演:  
尾上松之助、片岡市之正、嵐橋楽

京都での若手才能の胎動

『茶々 天涯の貴妃』 11/2,11/6  
2007年東映京都作品(128分)/監督:橋本一/出演:和央  
ようか、富田靖子、寺島しのぶ

『鴨川ホルモー』 11/1,11/6  
2009年松竹映画作品(113分)/監督:本木克英/出演:  
山田孝之、栗山千明、濱田岳

トークイベント 11/6  
『茶々 天涯の貴妃』作品トーク  
ゲスト:橋本一(『茶々 天涯の貴妃』監督)

【京都映画・映像産業ルネッサンスプロジェクト作品】  
2010年に太秦で開催された京都映画・映像ルネッサンスP  
ロジェクトで制作された作品を上映。

『不知火の恋』 10/29,10/31,11/2  
2010年(20分)/監督:柏木宏紀/出演:市瀬秀和、谷桃子

『GENTA』 10/29,10/31,11/2  
2010年(26分)/監督:井上昌典/出演:前田旺志郎、下元年世

『古都奇譚 秋』 10/30,11/1,11/4  
2010年(20分)/監督:熊谷まどか/出演:四宮章吾、山村嵯都子



角川書店



日活株式会社

【丹後映像フェスティバル・スカラシップ作品】

宮津市で開催される丹後映像フェスティバルの受賞監督が  
製作支援をうけて、宮津で撮影した作品。

『宮津の鬼婆』 10/30,11/1,11/4  
2010年(30分)/監督:嶋崎聖治/出演:植田功、飯尾智津子

『流騒』 10/30,11/1,11/4  
2010年(40分)/監督:岡元雄作/出演:板東晴、東風万智子

【京都映画若手才能育成ラボ作品】  
国内外の若手映画人を京都の東映・松竹の撮影所に集め  
製作された短編時代劇。

『The Ambush まちぶせ』 10/29,10/31,11/2  
2008年松竹京都チーム(10分)/監督:大道省一

『煮象』 10/29,10/31,11/2  
2008年松竹京都チーム(9分)/監督:片岡翔

『The Mistake 手ばかり』 10/29,10/31,11/2  
2009年東映京都チーム(7分)/監督:エマニエル・オセコフオー

『SAYONARAKEN さよなら犬』 10/29,10/31,11/2  
2009年松竹京都チーム(8分)/監督:ネーザン・キタダ

『The Battle』 10/29,10/31,11/2  
2010年東映京都チーム(5分)/監督:玉木雄介

『Purple and Gold』 10/29,10/31,11/2  
2010年松竹京都チーム(10分)/監督:エリック・リン

トークイベント 11/3  
「映画とメディア芸術の振興 近年の流れ」  
講師:佐伯知紀(文化庁文化芸術振興課芸術文化調査官)

トークイベント 11/6  
「世界の歴史劇映画の魅力語る」  
パネリスト:時代劇ルネッサンスプロジェクトチーム  
チョ・ソンユン(韓国)、劉海濤・王継熙(中国)、  
ニコラ・プゼ(フランス)、加藤舞(イギリス)ほか

世界の歴史劇を楽しむ  
~京都ヒストリカ国際映画祭企画~

『王の男』 10/29,10/30  
2005年(122分)韓国映画/監督:イ・ジュンイク/出演:  
カム・ウソン、イ・ジュンギ、チョン・ジニョン

体験!キッズシネマスタジオ 11/5,11/6 事前申込み必要(下記)  
小学生を対象とした映画の撮影体験ワークショップを東映  
京都撮影所で開催 <太秦シネマフェスティバルと共催>



©2009『鴨川ホルモー』  
フィルムパートナーズ



©2007『茶々 天涯の貴妃(おんな)』  
製作委員会

【会場】 元・立誠小学校1階講堂(木屋町蛸薬師)  
櫻 京都シネマ(四条烏丸/COCON 烏丸3階)  
學 東映京都撮影所(太秦)  
他は、京都文化博物館(別館ホール、フィルムシアター)

料金 無料(別館ホール、京都シネマ、元・立誠小)  
総合展示場入場料として  
一般500円、大学生400円(3Fシアター)

別館での上映は遮音・遮光が完全にできません。  
高画質・高音質をお望みの方はシアターをご利用ください。

10.29(土)	3Fシアター 10:30~10	15:30~5	17:15~E
	京都シネマ 10:00~14		
10.30(日)	3Fシアター 10:30~11	13:30~4	15:15~3
	京都シネマ 10:00~14		
10.31(月)	3Fシアター 13:30~3		18:30~1
	別館ホール 10:30~10	14:30~A	
11.1(火)	3Fシアター		18:30~2
	別館ホール 10:30~11	13:30~6	17:00~1
			17:30~D
11.2(水)	別館ホール 10:30~10	13:30~7	17:00~H
			18:00~C
	3Fシアター 13:30~1	16:30~5	
11.3(祝)	別館ホール 10:30~G	12:10~H	13:30~E
			16:30~F
			18:15~10
	元・立誠小 13:30~6		
11.4(金)	3Fシアター 13:30~2		18:30~4
	別館ホール 10:30~11	15:30~1	16:00~G
11.5(土)	3Fシアター 10:30~C	13:30~B	15:15~A
11.6(日)	3Fシアター 10:30~6	13:30~J	15:00~13
			18:00~7

【トークイベントの事前申込みについて】(B F 学 以外の上映・トークイベントは申込み不要、先着順。)

B 四畳半神話大系トーク(定員150名) F 京都アニメーション座談会(定員200名):下記(1)~(3)のいずれかでお申込みください。  
・「催し名」「お名前」「郵便番号とご住所」「電話番号」「ゲストへの質問(任意)」をそれぞれお書きください。

(1)メール: media@bunpaku.or.jp (2)ファックス: 075-222-0889  
(3)往復ハガキ: 〒604-8183 京都市中京区三条高倉 京都文化博物館 メディア芸術祭係  
(往復ハガキでお申し込みの方は返信はがきにご自身のご住所をご記入ください)

・締切は10月20日(必着)。応募多数の場合は抽選。当選者に入場整理券を発送いたします。申込み一件につき、一つの催事、お一人様有効。

「日本映画原点の地・立誠」の申込み・問合わせ先 075-708-5318 「日本映画原点の地・立誠」事務局

「体験!キッズシネマスタジオ」の申込み・問合わせ先 075-882-1851 NPO法人京都映画倶楽部

THE MUSEUM OF KYOTO 京都文化博物館 bunpaku.or.jp  
〒604-8183 京都市中京区三条高倉  
Tel.(075)222-0888 Fax.(075)222-0889

上映作品、上映時刻はやむを得ず変更されることがあり  
ます、ご了承ください。  
危険が予想される場合は入場をお断りすることがあります。